

東急世田谷線の乗降者数の推移



令和3年5月20日



株式会社リアルプロ・ホールディングス

世田谷線の現在の区間は1925年（大正14年）1月18日に「三軒茶屋」～「世田谷駅」が玉川電気鉄道（通称：玉電）の支線として開業し、同年5月1日に「世田谷駅」～「下高井戸駅」間が開通しました。1938年（昭和13年）3月10日に玉電は東京横浜電鉄（現：東急電鉄）に合併され、玉川線となりました。

1969年（昭和44年）5月11日に玉川線の「渋谷駅」～「二子玉川駅」間が廃止されて、残った支線部分が世田谷線になりました。世田谷線は、2両編成の親しみやすい車両で、住宅街をくぐるように走っており、世田谷区民の身近な足として親しまれています。

1992年（平成4年）には三軒茶屋駅前の再開発事業に伴い、若干、駅が下高井戸寄りになりました。

2002年には世田谷線専用のICカード「せたまる」が導入され、2007年（平成19年）3月18日より、PASMO及びSUICAの利用が可能になりました。運賃は全線均一制で大人140円、子供70円になっています。

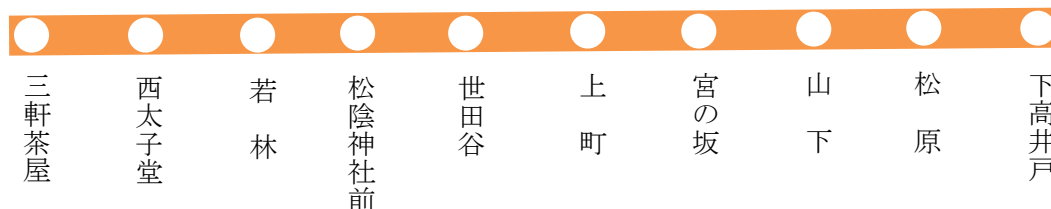
世田谷線は東京都世田谷区「三軒茶屋駅」～「下高井戸駅」を結ぶ軌道線です。実際にはほとんどが専用軌道になっており、環状七号線との交差部の「若林踏切」のみが併用軌道となっています。

東急世田谷線は2008年度をピークに利用者数は減少してましたが2012年度は増加に転じましたが2013年度の伸びが著しかったため、2014年に再び減少しましたがそれ以降は増加しています。

営業キロ数 5.0km

駅数 10駅

【東急世田谷線の路線図】



【東急世田谷線の1日平均乗降者数の推移】

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
全線	110,122	112,376	115,082	116,152	116,006	84,204

